

住吉家鑑定控一

住吉家鑑定控第二丁表

住吉家鑑定控は最近東京美術學校が市に得て文庫に收藏した一冊子である。美濃四半切大横二三厘(七寸七分) 縦一六厘(五寸三分)の横綴本、墨附百五十五枚、表裏共に表紙に鳥の子を貼し、何人の筆にか、是れに一面に秋草模様を繪き、題簽を缺く。たゞ見返しに住吉弘定の書と思はるゝ『添帖極鑒定札折紙』の文字を三行に大書し、別に『副狀枚』の落書かとも見らるゝ三字を墨書する。従つて茲に此の一冊子に住吉家鑑定控と題するも、公刊に際して其の内容に従つて、假に命ずるに過ぎない。錄する所天明二年より明治九年に及び、尙裏表紙の表には『十五年六月云々』の年紀を有する追記がある。本書は即ち此の百年に餘る年次の間、住吉家の廣行、廣尙、弘定、弘貫、廣賢尙卷首初葉右肩に廣守の方印一顆を鈐するが、書中の記載中には廣守の署名は一も發見し得ない。是れは本冊中廣守印譜の一紙を挿入せると、彼の安永六年を以て他界せるとより見て、恐らく後人のさかしらであらう。の五代に互つて祕襲されたもので、古畫鑒定に當つて添狀、鑒定書、極札等を交付した控書であると思はれる。元來東京美術學校には、別に嘗て赤星家より寄贈された住吉家傳來の粉本類の多數を收藏し、其の内に半紙數百葉を綴ぢ合した鑑定控書の大冊がある。其れは同家に於て、日毎に乞はるゝまゝに、鑑定に當つた書留の合冊で、其の大部分は一々に見取圖を圖寫し、一ケ年の書留已に四十葉に及ぶものがある。夫れだけ其の畫蹟は少數の名品を除い

て、多くは瓦石を混淆せるもので、たゞ見るに随つて筆録したものと思はれるが、本冊は稍其の選を異にし、一ヶ年の所録少きは一、二多きも數點を出でない。殊に開卷直幹申文草紙を録し、本冊第一葉に石山寺縁起、大須摩三郎草子等を録するが、是れは明に住吉弘以下一遍上人繪、平治物語繪、源氏、榮華、吉備入唐等の古今の名蹟を録するもの多く、而も其の大部分は一々に割印を押捺せることを見ると、本冊は恐らく住吉家歴代に秘襲して、名品と見るべきもののみを選んで、鑑定書の復本としたものと思はれる。而して本書全冊中文化八年までは廣行の署名に係り、文政十一年までは廣尙、嘉永五年までは弘定、弘定の署名の中天保十一年までは廣定の文字を用ひ、以下廣字を保十一年であることは、是等何れも是れに署名し、以下數葉に弘貫、廣賢の名を見、明治初年に了る。而して是等の書風は各明に別筆を成せるを見ると、尙更此の一冊子が後の傳寫でなく、歷代の手録に成つたものと思はれる。其の録する所數百項目、半ごろ以下稍々書記の體を亂ると共に、本書の如き性質として當然なる見取圖を伴はないのは惜まれるが全冊中僅に四圖の而も其の一々には畫史上に多大の考ふべき資料を供するものがある。尙是等の點に就いては上記別冊鑑定書留と關聯して注意すべきものは多いが、そは他日を期することとしたい。

本書公刊に當つて最初嚴密に原本の體様を保存せんことを試みたが、植字の後紙面の徒らに亂雜に流れて讀過に煩はしきを發見し、遂に鑑定主文は是れを一行に書き流す事に改めた。同時に日附、署名、宛名及び其の他の註記等の記載法に就いても、原本の體を損せざる範圍に於て、適宜形式を更めると共に、後園融院、文珠、形部大輔、其の他明に誤字と認むべきは是れを正し、たゞ稍疑はしきは存して（ ）内に判讀の文字を加へ、また難讀には□を以て代へた。また書中一字或は數字の抹削せるは其のまゝ省略に従ふたが、一二の項目の全部抹削せるものは、其の意の如何を測り難いが爲めに、且く是れを活字に移して上欄に其の旨を註記した。また書中貼紙の剝離したと思はれるもの三四に及ぶが、是れは其の原位置を到底明かにし得ざる爲に之を省略した。尙公刊の活字面の首尾に互つて間々「」を畫した註記がある。たとへば三十七頁下段、聖德太子傳記十卷の條に「詞書世尊寺定成卿」とある如きである。是等の註記は明に首尾一筆に成り、恐らく弘定が後年註記したものと思はれる。是れを外にして往々異筆ならずやと疑はるゝものがあるが、是れを明にし得ないがために一々註記しなかつた。尙原本各項目の上に「一」字を加へたものがあるが、是れを省略したこと、圓とあるは實印記を押捺したものであることをも註記する。

本書は既記の如き大冊で、こゝに全冊を收め難いが爲めに、止むなく文政三年十二月までを本號に公刊することとして以下次號に議ることとする。（田中）

寛政四年南殿御障子御用ニ付上京被仰付候節  
石山寺什物一見廣行極遣ス者也  
江州石山寺縁起繪筆者

第一 第二 第三

繪 右近大夫將監隆兼筆

詞 石山座主  
杲守僧正筆

第四 繪 刑部大輔光信筆

詞 西三條内大臣實隆筆

第五 繪 栗田口法眼隆光筆

詞 二條家爲重筆

右之通書遣ス

大須摩三郎草子

詞 二條家爲氏筆

繪 隆相筆にても可有之ト申遣ス

橋

直幹申文章紙

詞書 慶運法印 極有 壹卷

土佐權守光顯筆

天明二 寅 年五月

小川屋道具 高木伴作取次

名 廣行印

釋尊之畫

紙地彩色

從五位下土佐越前守光重筆

天明三 癸 卯年正月

名 廣行印

青山大膳亮殿

住吉家鑑定控

住吉玉津島神影 絹地彩色

正四位藤原朝臣信實眞筆無疑者也

天明六 丙 午年六月

名 廣行印

尾張大納言殿

天滿天神之影 絹地彩色

右者土佐光輔眞筆無疑者也

天明六 丙 午年八月

名 廣行印

應山公御讚 山伏之畫 紙地薄彩色

法眼如慶廣通筆

天明六 丙 午年八月

名 廣行印

尾張殿

藤澤山 一遍上人繪詞傳 拾卷 紙地彩色

栗田口民部法眼隆光筆無疑者也

天明七 未 年十一月

名 廣行印

遊行上人頼

日光山 東照宮御縁起 五卷 紙地彩色

詞公卿門跡寄合書

繪

住吉法眼如慶廣通筆

天明八 戊 申年正月

名 廣行印

右者從尾張大納言殿日光御宿坊日藏院被遣候ニ付鑒定

箱上書

鑒定

同裏書

東照宮御縁起五卷則神君御世治 國之記也元慈眼大

師令 臣 高祖父住吉法眼 廣通 圖焉凡四部乃 臣 家藏弄其

影畫一通因 臣 家永鑒定其圖 廣行 識 花押

天明八申年十一月五日 田安御殿へ被召出從有德院

様田安様江被進候御道具江名附可致旨被仰付候ニ付

左之通認上ル

「詞書世尊寺定成卿」

聖德太子傳記 拾卷

古畫之所土佐權守經隆筆與相見申候至而見事

成品ニ御座候

住吉内記

右之通奉書小札ニ認遣ス内ニ拾貳三段狩野常信書足

シ有之

法然上人傳記 壹卷

土佐越前守長章筆 與 相見申候

名

乘馬之畫 壹卷

冷泉爲家卿筆 與 相見申候

名

依藤太之畫 壹卷

左近衛將監行長筆 與 相見申候

名

右四通リ也

紙地

福祿壽 瀧ニ駒鳥 三幅對

住吉法眼如慶廣通筆無疑者也

寛政四子 年十一月

名 廣行印

右者京都ニ而滯留中ニ極

三七



直極  
扇面小朝拜之圖

壹枚

千代光久筆

寛政五 丑 年八月

一名乘

外題極  
源氏眞墨繪 色紙 五拾四枚

詞書 葛岡宣慶朝臣筆  
繪 法眼如慶廣通筆

寛政五 丑 年八月十一日  
武州比企郡下古寺村岡本平兵衛へ遺ス  
一名印

直極  
扇面 梅ニ雉子之圖

土佐刑部大輔光信筆

寛政六 寅 年三月廿六日

住吉廣行證印

手鑑  
源氏物語繪 五拾四枚

色紙 竪 五寸九分  
幅 五寸四分  
土佐刑部權大輔光成筆無疑者也

寛政六年 甲 寅 六月十五日  
成瀬隼人正殿  
一名廣行印

木筆古歌仙 一軸

右者土佐越前守藤原光顯眞跡無疑候木筆之  
體希世之珍跡殊勝之物ニ御座候光顯者文保  
元德之頃之人ニ而畫所預敘從五位下任土佐  
守又任越前守候  
寛政六年 甲 寅 十二月十七日 住吉内記 藤原廣行印  
水戸宰相殿

天満宮尊影 一軸

巨勢有家筆

寛政七 乙 卯 年七月廿五日  
屋代太郎  
一名

大山崎  
離宮八幡利益之畫

巨勢有家筆

寛政八 丙 辰 年五月廿八日  
尾 張 殿 元享釋書拾卷目ニ出  
大安寺行教  
住吉内記

三尊之畫 文殊 釋迦 普賢

大夫法眼永春筆

寛政八 丙 辰 年五月  
蜷川大和守殿  
一名

地紙形 いたつらに歌有

書畫 光久筆

寛政八 丙 辰 十一月十八日  
水 野 家 慶受取次  
住吉内記廣行證

平治物語繪詞第一 殘缺 一軸

詞書 家隆卿  
繪 住吉法眼恩筆

稀世之珍寶殊勝之物御座候以上  
寛政十 戊 午 年五月廿五日  
本多修理殿  
右者保元平治之内勢州ニモ有之由筆同様可  
成哉

和州添上郡櫻本郷  
治道宮並柿本寺圖

繪 住吉法眼恩眞筆無疑者也

寛政十一 巳 未 年六月四日  
柿本寺住持へ  
一名

源氏物語之内 殘缺 二卷

中務少輔隆親眞筆無疑者也

寛政十一 巳 未 年八月六日  
尾 張 殿 御藏  
「詞書世尊寺伊房卿」  
一名

榮華物語 一軸

詞書 後京極良經公  
右繪正四位藤原朝臣信實眞筆無疑者也

寛政十一 巳 未 年十二月  
松平隱岐守殿  
住吉内記 廣行印

天満天神之影 一幅

絹地彩色  
土佐左近衛將監光元眞筆無疑者也

寛政十二 庚 申 年四月廿五日  
青山大膳亮殿  
一名

物語繪草子 一軸

詞書 後二條院御宸筆  
土佐越前守光顯筆無疑者也

寛政十二 庚 申 年閏四月  
尾 張 殿  
一名

柿本人麿

紙地彩色  
狩衣之像

贊 近衛關白政治家公御筆

繪 古土佐筆

寛政十二庚申年六月

松平隠岐守殿

一名

寛政十二庚申八月廿日  
箱書付  
素性法師

裏書

住吉左京廣雅筆

内記廣行誌印

讚 近衛關白信尋公

いまこむと

青山殿

寛政十二庚申八月廿日  
箱書附

柿本朝臣人麿之像 住吉法眼具慶筆

讚 中院殿内府通茂公

青山大膳亮殿

佛畫

一幅

文殊 藥師 觀音  
釋迦 大日 阿彌陀  
普賢 彌勒 勢至 地藏  
不動

土佐右近衛將監行廣眞筆無疑者也

寛政十二庚申年八月

一名

道具屋外屋五兵衛

時代不同歌合之切

行平 遍昭  
俊成 慈鎮

畫 土佐備前守光國筆

寛政十二庚申年十二月廿八日

一名

「哥有後圓融院」  
青山大藏少輔殿

住吉家鑑定控

箱書附  
源氏若紫

北山之所 卷物之切 一軸

土佐備後守光國筆

享和元辛酉四月十五日

道具屋利兵衛

住吉内記□誌

金地屏風一雙  
古三拾六歌仙之畫

彩色

土佐光則筆無疑者也

享和元辛酉年六月

住吉内記廣行

右之圖者光信筆倣物也 一體手入見へ六ヶ敷も  
の也 歌仙之贊寄合書也

左世の中に 近衛關白信尋公

人のおやの 大覺宮空惟法親王

あきふぬと 知恩院宮良純法親王

岩橋の 青蓮宮尊純法親王

右三輪の山 大覺宮空性法親王

すゑの露 中院内大臣通村公

萬代の 八條宮知忠親王

比戸□□ 曼珠院宮良尚法親王

あり明の 近衛關白信尋公

青山大膳亮殿 光則之頃御方 如慶

小大君之畫

一幅

贊 二條家爲家卿

正四位藤原朝臣信實眞筆無疑者也

享和二壬戌年正月廿一日

伊勢屋利兵衛

三拾六人歌

額極 彩色  
幅 壹尺四寸二分  
壹尺六分

右畫 土佐光吉筆無疑者也

享和二壬戌年正月廿一日

雲州日御崎社人日置肥富頼

住吉内記 名乗判

敏行之畫

一幅

土佐越前守光顯眞筆無疑者也

享和二壬戌年五月廿一日

一名

「哥有慶運法師」  
青山大藏少輔殿

柿本人麿

紙地 一幅

土佐彈正忠廣周眞跡無疑者也

享保二壬戌年八月廿一日

一名

青山大藏少輔殿

箱書附  
羅漢

巨勢有久筆

享和二壬戌年八月廿一日

伊勢屋利兵衛遺ス

住吉内記廣行誌

宗平中將之畫

一幅

右畫二條爲家卿眞跡無疑者也

享和二壬戌年十一月廿一日

住吉内記 名乗

道具屋頼

淨土五祖之繪 一軸

土佐光重眞筆無疑者也

享和三 戊年十一月廿一日 一名  
道具屋頼

普賢菩薩之畫

住吉法眼慶眞筆無疑者也

享和三 亥年三月廿一日 住吉内記廣行

大村殿家中 村田元仙取次

不動明王之畫 一幅

宅磨法眼澄賀眞筆無疑者也

文化二 丑年五月廿一日 住吉内記廣行  
喜谷喜六へ取次

光明眞言繪詞傳 三卷之繪

豐後法橋眞跡無疑者也

享和三 亥年閏正月 住吉内記廣行〔花押〕  
別紙

豐後法橋 後圓融院之頃者也互勢金岡末孫昇申傳候  
へ共姓名不詳 鳳閣寺家藏

天滿天神之影 絹地彩色

土佐中務丞光弘眞筆無疑者也

享和三 亥年九月廿一日 住吉内記廣行  
喜谷喜六頼

吉備大臣入唐之畫 一軸

土佐刑部大輔光長眞筆無疑者也

享和三 亥年十月廿一日 住吉内記廣行  
三井三郎助所持ニ極遺ス  
〔詞書 飛鳥井雅經卿〕

扇面之直極

源氏の内橋姫

土佐刑部大輔光信筆

田面ニ鳴子引圖

同

加茂祭勅使之所

同

竹ニミヤマ秋草

同

柳ニ燕

光久筆

柳ニ櫻

光元筆

享和三 亥年二月廿一日 住吉内記證 朱印  
桂意方

源氏畫屏風

帶木

一雙

柿本人麿

一幅

土佐光吉眞筆無疑者也

享和三 亥年三月十日

大村信濃守殿

文化元 甲子年十月廿一日 住吉内記廣行  
青山大藏少輔殿

右者土佐刑部大輔光信眞跡疑惑無之候予家所  
傳應 東山殿命屏風拾帖有余調畫云 世上稱  
大繪源氏者是而希代珍器殊勝之者也仍鑑定畢

源氏押畫屏風

一雙

桐	壺	は	木々	うつ	蟬
夕	顔	若	紫	紅	葉賀
花	宴	葵	蓬	は	な散里
明	石	松	生	み	をつくし
繪	合	小	風	朝	かほ
乙	女	鈴	むし	螢	
か	り火	浮	舟	藤のうら	葉
若	菜	や	とり木		

住吉法眼如慶廣通眞筆無疑者也

文化二 乙丑年十二月九日 住吉内記廣行

松平越中守殿 御所持

阿彌陀尊之畫

一幅

巨勢金岡眞筆無疑者也

文化三 丙寅年五月廿一日 住吉内記廣行印

酒井雅樂頭殿隱居 抱一殿

箱書附

春日鹿曼陀羅

一幅

住吉法眼慶眞筆

十月七日

藤原廣行證

同

文殊

一幅

巨勢有久筆

十月七日

住吉廣行誌印

貳幅  
安藤對馬守殿 所持

箱書付  
座像  
釋迦

土佐法眼常昭光起筆

一幅

印

酒井隱居抱一殿

十月七日

箱書付  
團扇形  
雨牡丹之圖

裏書ニ  
倣郭熙彩寫黃牡丹之圖  
土佐彈正忠廣周筆

文化三寅年十一月

濱名友榮頼

住吉廣行誌印

中納言藤房卿之像

土佐刑部大輔光信眞筆無疑者也

文化三寅年十一月廿一日

濱名友榮頼

住吉内記廣行印

右萬里小路藤房卿者太平記ニ建武二年三月北山ノ岩藏  
ヘ趣レ不二房ト云僧ヲ戒師ニ請シ法體發心也入道シ給  
ふト有然ハ此圖全藤房卿トモ難極者ニハアレ共上ニ讚  
有其様子藤房卿ニテモ可有様子土佐光貞書付ニ藤房卿  
ト書リ依而應求極道スもの也

箱書付  
伊勢物語之内武藏野  
色紙

一幅

土佐千代子光久筆

寅十二月九日

齊藤小太郎頼

住吉内記誌

住吉家鑑定控

箱書付  
獸戲遊之畫

一幅

右者地唐紙ト見候尤筆體共ニ難心得品ニハ候得共廣  
守極モアル故書付遣者也

抱一殿

寅十二月

建保六年  
中殿御會之畫

和歌飛鳥井雅豐卿  
外題中院通茂公筆

倣信實朝臣圖

土佐左近衛將監光起筆

但畫中砂子ハ後人無意加ルもの也

文化三寅年十二月

道具屋利兵衛

住吉内記廣行○

箱書付  
花鳥

土佐千代子光久筆

酒井隱居様

文化四卯年三月朔日

住吉内記誌

箱書付  
酒飯論

土佐光元筆

詞書兼載

文化四丁卯年三月

岡村備後守殿

住吉内記誌

箱書付  
春日曼茶羅

土佐權守經隆筆

卯三月十日

青山大膳亮殿

住吉内記誌

箱書附  
多武峯釋迦像

土佐越前守行光筆

文化四丁卯年五月廿一日

安藤對馬守殿

住吉内記誌印

後鳥羽院  
俊成畫

一幅 横物紙地

但歌有之

住吉法眼如慶廣通筆無疑者也

文化四丁卯年五月廿一日

住吉内記廣行印

「贊歌  
惠然親王  
中院通村兩筆」

竹中織部殿

春日宮曼茶羅

一軸

繪

土佐右近大夫將監高階隆兼筆無疑者也

文化四丁卯年七月

木谷頼

住吉内記廣行印

六孫王經基之御影

宅磨法眼永賀眞筆無疑者也

榮

文化四丁卯年十一月廿一日

住吉内記廣行

青山大藏少輔殿

釋阿之像

土佐彈正忠廣周眞筆無疑者也

文化四丁卯年十一月廿一日

住吉内記廣行印

青山大藏少輔殿

〔贊〕 微書記正敬筆  
よみ哥

豐田家藏

地藏菩薩之畫

絹地彩色

閣魔天之圖

箱書附

定家之圖

和歌 中院內府通村公筆極有  
法眼如慶廣通筆無疑者也

一幅

宅磨法眼榮賀眞筆無疑者也  
文化七 庚午年十一月廿一日

住吉内記廣行印

巨勢有重筆

住吉内記印誌

文化六 己巳年十月廿一日

住吉内記廣行印

酒井隱居

辰七月廿一日

源氏物語

地紙形 小押繪 五拾四枚

土佐左近衛將監光成眞筆無疑者也

文化七 庚午年十一月廿一日

住吉内記廣行印

箱書附  
荒神之圖

巨勢有康眞筆無疑者也應根本行信主需鑒定畢  
文化 己巳年二月日

十六羅漢之圖

貳幅

箱書附  
春日宮曼茶羅

住吉法眼慶恩筆

一幅

住吉内記印證

猿之草紙

畫光純筆 住吉内記誌

吒枳尼天之影

一軸

巨勢有重眞筆無疑者也  
文化七 庚午年正月廿一日

住吉内記廣行印

文化六 己巳年三月日

松浦靜山殿

一遍上人繪詞傳

貳卷

豐後法橋眞筆無疑者也

鷄冠草ニ蟲之畫

法眼如慶廣通筆無疑者也  
文化七 庚午年六月三日

住吉内記廣行證

文化六 己巳年七月廿一日

〔詞〕 頼阿法師  
兼空上人  
芝 豐田所藏之由

大岡土佐守殿藏

赤童子之

一幅

宅磨爲行筆

住吉内記廣行

文化八 辛未年三月二日

越前屋清次郎へ遺ス

法然上人繪傳

貳軸

土佐刑部大輔吉光眞筆無疑者也

文殊之畫

壹幅

文化六 己巳年七月廿一日

宅磨法眼榮賀眞筆無疑者也  
文化七 庚午年九月廿一日

住吉内記廣行〇

〔詞書〕 後二條院勅筆

越前屋清次郎取次

紀伊殿へ上ル山

箱書附  
韋駄天之圖

一幅

小川僧正承澄筆

文化八辛 未 四月三日

住吉内記□誌

### 蘇武圖

從五位下行土佐權守藤原朝臣經隆所作寬平中  
巨勢金岡所圖畫南殿障子賢聖像三十二人建長  
中權回祿更 勅經隆令倣金岡圖以畫之此圖蓋  
當時圖本也今以臣家所藏他圖本校之其筆法墨  
色爲經隆眞跡無疑矣 臣住吉廣行  
□□審定

文化八辛 未 年六月  
御本丸  
御物御道具極

箱書付  
春日社曼茶羅圖 上 下 豐後法橋筆

文化九壬 申 年四月廿一日 住吉内記廣尙誌印  
酒井隱居抱一殿

三尊之畫 釋迦 文殊 普賢 一鋪

法眼源慶筆  
文化九壬 申 十二月六日 住吉内記廣尙印

柿本神影 一鋪

前兵部少輔入道寂濟筆  
文化九壬 申 十二月廿一日 住吉内記廣尙印  
文政元戊 寅 六月廿一日

大黑天之神影 一鋪

住吉家鑑定控

土佐左近衛將監藤原朝臣光元筆  
右者光成極之通無相違者也

文化九壬 申 十二月廿一日 住吉内記廣尙印

不動尊之畫 一鋪

小川僧正承澄眞筆  
文化十癸 酉 四月六日 住吉内記廣尙○  
松浦靜山殿

求聞持像 一鋪

右土佐守行廣眞筆無疑者也  
文化十癸 酉 七月六日 住吉内記廣尙○  
岡村備後守殿

箱書付  
不動尊利益雙紙 一軸

文化十一 戌 七月六日  
裏書  
住吉法眼慶忍筆 板谷所藏 住吉内記廣尙誌印  
「詞書  
世尊寺伊經卿  
光明峯寺通家公  
世尊寺行能卿  
右三筆」

天滿天神之影 一鋪

右土佐光輔眞筆無疑者也  
文化十一 甲 戌 十月廿一日 住吉内記廣尙印  
「贊歌有  
下冷泉祖持爲卿」 山崎逸八

古畫卷物之切 土佐刑部大輔吉光筆

住吉内記廣尙誌印

亥三月廿一日 裏 等覺院殿

墨繪  
源氏物語色紙 五拾四枚

右土佐左近衛將監光成眞筆無疑者也  
文化十二乙 亥 五月六日 住吉内記廣尙印  
喜谷喜六

佛畫色紙 童子 三枚

右小川僧正承澄眞筆無疑者也  
文化十二乙 亥 十二月六日 住吉内記廣尙印  
栗田口桂節取次

花鳥  
押繪二枚折屏風 片シ

但シ六枚之内二枚拜見□候  
直極  
土佐光吉筆 住吉内記廣尙證  
文化十二年十二月六日 等覺院

外題極  
芝法眼琳賢筆山越阿彌陀尊  
うら 乙亥十二月廿二日 廣尙印  
「整五寸八分  
幅 八分」

多聞天王 吉祥天女 一鋪

四三

右巨勢金岡眞筆無疑者也

文化十二乙 亥十二月六日

住吉内記廣尙印

喜多村山城守殿

秋野鹿之畫屏風 一雙

但拾一枚

右者土佐刑部大輔光茂眞筆無疑者也

文化十三丙 子十二月廿一日

住吉内記廣尙印

後藤

曼茶羅之畫 一鋪

右大夫法眼永春眞筆無疑者也

文化十三丙 子十二月廿一日

住吉内記廣尙印

越前屋又左衛門

獸戲遊繪 一鋪

右者鳥羽僧正覺猷眞筆無疑者也

文化十四丁 丑三月廿一日

住吉内記廣尙印

喜谷喜六

上二次色紙在リ信尋公讃アリ

是ハ後ニ付ク者也

人麿 法眼永春筆

寶永三年丙 戌

人麿之影 一鋪

法眼永春筆

右土佐刑部大輔光成極之通無疑者也

文化十四丁 丑五月六日

住吉内記廣尙印

等覺院

女歌仙色紙 三拾六枚

土佐刑部權大輔光成眞筆内一枚馬内侍書添

父内記廣行眞筆右之通相違無之候畢

文化十四丁 丑六月六日

住吉内記廣尙印

河野又四郎様 御取次

中納言敦忠卿 一鋪

右京大夫藤原信實朝臣眞筆無疑者也

文化十四丁 丑八月六日

住吉内記廣尙印

等覺院殿

「歌 平業兼筆」

土佐刑部大輔光信筆佛繪切

廣尙印

外題 丁丑十一月六日

柿本神影 一鋪

右豪信眞筆無疑者也

文化十四丁 丑十二月六日

住吉内記廣尙印

喜谷取次

不動尊 一鋪

右妙澤和尚眞筆無疑者也

文化十四丁 丑十二月廿一日

住吉内記廣尙印

等覺院殿

聖德太子尊影 一鋪

右從五位下土佐越前守光重眞筆無疑者也

四四

文化十四丁 丑十二月廿一日

住吉内記廣尙印

越前屋

蟬丸之像 一鋪

右土佐刑部大輔吉光眞筆無疑者也

文化十四丁 丑十二月廿一日

住吉内記廣尙印

「贊 方山和尚」 前同

釣花生梅之畫 一鋪

右土佐彈正忠廣周眞筆無疑者也

文化十四丁 丑十二月廿一日

住吉内記廣尙印

吉田快庵殿

「追而箱書付 弘貫書」

愛染尊 一鋪

右從四位下行大藏少輔行秀眞筆無疑者也

文化十五 戊 寅正月廿一日

住吉内記廣尙印

外屋源兵衛

五大明王之圖 一鋪

右右近大夫將監隆兼眞筆無疑者也

文化十五 戊 寅二月六日

住吉内記廣尙印

外屋源兵衛

菅神之尊影 一鋪

右宅磨榮賀眞筆無疑者也

文化十五 戊 寅二月廿五日

住吉内記廣尙印

「贊 四條道場金蓮寺

素眼法師筆」 外屋源兵衛

菅神之尊影

一鋪

右土佐左近將監光元真筆無疑者也

文化十五 戊寅二月廿五日

住吉内記廣尙印

同

菅神雲中影向之尊像

一鋪

右通覺上人真筆

文化十五 戊寅二月廿五日

住吉内記廣尙印

「贊 近衛關白政家公御筆」

同

羅漢之畫

一鋪

右土佐越前守光重真筆無疑者也

文化十五 戊寅三月六日

住吉内記廣尙印

同

降三世明王

一鋪

右宅磨澄賀真筆無疑者也

文化十五 戊寅三月廿一日

住吉内記廣尙印

外源

蘆之繪御屏風

一雙

右土佐刑部大輔光信真筆色紙泥畫同筆無疑者也

者也

文化十五 戊寅四月六日

住吉内記廣尙印

松浦肥前守殿

融通念佛繪

二軸

住吉家鑑定控

右芝法眼琳賢真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月六日

住吉内記廣尙印

外源

鹿苑院殿御肖像

一鋪

右從四位下行大藏少輔行秀真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月六日

住吉内記廣尙印

松平帶刀殿

菅神之尊影

一鋪

上二屏風形松梅有

右普廣院殿義教公真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月廿一日

住吉内記廣尙印

菅神之尊影

一鋪

右土佐吉光真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月廿一日

住吉内記廣尙印

外題

巨勢有重筆弘法大師尊影

戊寅四月廿一日

廣尙印

菅神尊影

一鋪

右土佐刑部少輔光周真筆

文化十五 戊寅四月廿五日

住吉内記廣尙印

以上 外源

二十三社之畫

一鋪

上二金泥題目有之

右前兵部少輔寂濟真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月廿一日

住吉内記廣尙印

喜谷

團扇形松躑躅之畫

一鋪

右土佐光吉真筆無疑者也

文化十五 戊寅四月廿一日

住吉内記廣尙印

竹本屋五兵衛

朴堂祖淳筆不動明王尊影

戊寅五月六日

外源

廣尙印

土佐彈正忠廣周筆圓位上人像

戊寅五月六日

帶刀

廣尙

土佐刑部大輔光茂筆鴨長明像

同

同

土佐光輔筆渡唐天神御影

戊寅十二月廿五日

廣尙

土佐光則筆人麿之影

戊寅十二月六日

廣尙印

土佐廣雅筆箏之繪

戊寅十二月廿一日

廣尙印



一休禪師之肖像 一鋪

右土佐右近衛將監光信眞筆無疑者也

文政元 戊寅五月廿一日  
住吉内記廣尙印  
吉田百太郎

三尊之畫 觀音 一鋪

右從五位下飛彈守光秀眞筆無疑者也  
文政元 戊寅六月廿一日  
住吉内記廣尙印

墨繪眞山水 一鋪

右慈照院殿義政公眞筆無疑候畢  
文政元 戊寅六月廿一日  
住吉内記廣尙印

木筆不動尊 一鋪

右越前守光顯眞跡無疑者也  
文政元 戊寅七月六日  
住吉内記廣尙印

羅漢之繪 一鋪

右土佐越前守行光眞筆無疑者也  
文政元 戊寅八月六日  
住吉内記廣尙印  
以上 外源

相生之松 著者 三幅對

但名印有之  
右土佐左近衛將監光起眞筆無相違候畢  
文政元 戊寅八月廿一日  
住吉内記廣尙印  
大和屋善藏

文殊菩薩 一鋪

右巨勢金岡眞筆  
文政元 戊寅九月廿一日  
住吉内記廣尙印  
上二同

普賢菩薩 一鋪

右從四位下刑部大輔光長眞筆無疑者也  
文政元 戊寅九月廿一日  
住吉内記廣尙印  
外屋

來迎二十五菩薩 善導 一鋪

右大夫法眼永春眞筆無疑者也  
文政元 戊寅九月廿一日  
住吉内記廣尙印

聖德太子尊影 一鋪

右巨勢有重眞筆  
文政元 戊寅十月廿一日  
住吉内記廣尙印  
以上 外屋

羅漢之繪 一鋪

右土佐刑部大輔光信眞筆無疑者也  
文政元 戊寅十月廿一日  
住吉内記廣尙印

上宮太子 馬子 一鋪

右春日越前守光長眞筆無疑者也  
文政元 戊寅十月廿一日  
住吉内記廣尙印  
以上 外源

四六

靈昭女之繪 一鋪

右土佐刑部大輔光茂眞筆無疑者也  
文政元 戊寅十二月六日  
印  
外源

雞之繪 一鋪

右土佐刑部大輔光茂眞筆無疑者也  
文政元 戊寅十二月六日  
印  
竹本

古歌仙手鑑 一帖

人丸 貫之 躬恒 伊勢  
兼持 赤人 業平 素性  
兼輔 敦忠 公忠 忠岑  
齋宮 類基 敏行 宗干  
信明 清正 順 興風  
元輔 是則 元眞 小大君  
仲文 能宣 忠見 兼盛  
中務 二十九枚

右土佐光吉若年之筆跡無相違候畢  
文政元 戊寅十二月廿一日  
住吉内記廣尙印

扇面 四枚

繪 紅葉賀 藤之裏葉  
探桑老 野馬  
右越前守光正眞筆無疑者也  
文政元 戊寅十二月廿一日  
住吉内記廣尙印  
以上 大和屋

柿本神影 一鋪

右宅磨榮賀真筆無疑者也

文政元 戊寅十二月廿一日  
住吉內記廣尙印  
等覺院殿

右巨勢倭久真筆

文政二 己卯四月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

法橋良圓筆阿彌陀三尊  
廣尙印

己卯七月六日

團扇形源氏繪 十二枚

右土佐左近衛將監光高真筆無疑者也  
文政二 己卯三月六日  
住吉內記廣尙印  
喜谷

鴿之繪 一鋪

右土佐刑部大輔光茂真筆無疑者也

文政二 己卯三月廿一日  
住吉內記廣尙印  
阿州蜂須賀宣佐殿

巨勢懷慶筆脇書右同  
廣尙印

右二同

芝法眼慶舜筆布袋之繪 廣尙

己卯三月六日 右兩口喜谷

少女靠脇息之圖 一鋪

右土佐光吉真筆無疑者也

文政二 己卯閏四月廿一日  
住吉內記廣尙印  
竹本

不動明王二童子 一鋪

右釋智海真筆無相違者也

文政二 己卯六月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

地藏菩薩尊影 一鋪

右由來等持院殿御筆尤可然者也

文政二 己卯三月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

裝束猿 一鋪

右者從古來書傳之通土佐光弘筆可然茲予所

藏古寫有三圖是其一源本無相違者也  
文政二 己卯六月二日  
住吉內記廣尙印  
松野半藏取次

紅頗梨色阿彌陀尊 一鋪

右巨勢行忠真筆

文政二 己卯七月十二日  
住吉內記廣尙印  
竹本

弘法大師尊影 一鋪

右住吉法眼慶恩真筆無疑者也

文政二 己卯三月廿一日  
住吉內記廣尙印  
外源

土佐光則筆王昭君之繪 廣尙

己卯六月六日

十二因緣之圖 一軸

右中務大輔爲繼真筆無疑者也

文政二 己卯七月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

大塔宮御甲冑馬上圖 一鋪

右千代子光久真筆無疑者也

文政二 己卯四月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

法橋良圓筆來迎阿彌陀尊 廣尙印

己卯六月六日

求聞持之尊像 一鋪

右備後守光國真筆無疑者也

文政二 己卯七月六日  
住吉內記廣尙印  
外源

辨財天 一鋪

住吉家鑑定控

月天子 一鋪

右法眼源尊眞筆

文政二己卯七月六日 外源

住吉内記廣尙印

千躰佛 一鋪

右采女正巨勢有久眞筆無疑者也

文政二己卯七月六日 外源

住吉内記廣尙印

十六羅漢 二幅對

右土佐越前守光重眞筆無疑者也

文政二己卯七月 外源

住吉内記廣尙印

觀世音 一鋪

右宅磨松谿眞筆無疑者也

文政二己卯七月六日 外源

住吉内記廣尙印

孔雀鳳凰 二幅對

右巨勢有康眞筆無疑者也

文政二己卯九月六日 竹本

住吉内記廣尙印

牡丹花籠之繪 一鋪

右土佐刑部大輔光茂眞筆無疑者也

文政二己卯九月六日 外源

住吉内記廣尙印

巨勢有重筆十一面觀世音

己卯九月六日

廣尙印

土佐光元筆鷹狩之圖

己卯九月六日 但光成直極有之

廣尙印

赤童子之影

宅磨左近將監爲久筆箱書付 外源

住吉内記廣尙誌

普賢菩薩

右宅磨榮賀眞筆無疑者也

文政二己卯十月六日 廣隆取次

住吉内記廣尙印

鶴之繪屏風殘缺

四枚

右土佐刑部大輔光茂眞筆無疑者也

文政二己卯十月廿一日 龜町道具屋

住吉内記廣尙印

三尊之繪釋迦 文殊 普賢

一鋪

右土佐豐前守邦隆眞筆無疑者也

文政二己卯十月廿一日 外源

住吉内記廣尙印

四八

阿彌陀佛之尊影 一鋪

右主殿頭隆能眞筆無疑者也

文政二己卯十一月六日 尾州屋敷方來

住吉内記廣尙印

別紙添書

阿彌陀尊之圖

正五位下主殿頭藤原朝臣隆能作所見事之出來感心不少候 堀川院之御宇寛治年中預繪所始祖也

佛繪十一躰 一鋪

右土佐光輔眞筆

文政二己卯十一月廿一日

住吉内記廣尙印

矜羯羅童子 一鋪

右土佐中務丞光弘眞筆無疑者也

文政二己卯十二月六日

住吉内記廣尙印

土佐光則筆墨繪源氏

うら 己卯十二月六日 初音乙女二枚

廣尙印

善導大師之影 一鋪

右備後守光國眞筆無疑者也

文政二己卯十一月廿一日

住吉内記廣尙印

求聞持之尊影 一鋪

右從四位下行大藏少輔行秀眞筆無疑者也

文政二己卯十二月六日

住吉内記廣尙印

物語繪殘缺 一鋪

右左近衛將監行長眞筆無疑者也  
文政二己卯十二月廿一日 名——廣尙印

草花 二幅對

右土佐左近衛將監光元眞筆  
文政二己卯十二月廿一日 名——廣尙印  
以上 竹本

地藏尊 一鋪

右從五位下越前守長隆眞筆  
卯十二月廿一日 名——廣尙印

信明朝臣 一鋪

右右京大夫藤原信實朝臣眞筆無疑者也  
文政三庚辰二月廿一日 竹本 住吉内記廣尙印

競馬之繪 一鋪

右右近大夫將監隆兼眞筆無疑者也  
文政三庚辰三月廿一日 喜谷 住吉内記廣尙印

辨財天 一鋪

右土佐刑部少輔光周眞筆  
文政三庚辰四月六日 住吉内記廣尙印  
住吉家鑑定控

大夫法眼永春筆阿彌陀三尊 廣尙印

庚辰四月六日 絹地 竪二尺八寸三分  
亥四月六日 折帶二直又 巾壹尺二寸

土佐光茂筆小野道風之像 廣尙

庚辰四月廿一日

辨財天 一鋪

右法眼源尊眞筆  
文政三庚辰四月六日 住吉内記廣尙印

最明寺殿肖像 一鋪

右者土佐守光貞鑒定之通リ吉光筆跡尤可然者也  
文政三庚辰七月六日 住吉内記廣尙印

物語繪草子 二卷

右致一覽候處慈照院殿御若年御筆拜見候畢  
文政三庚辰五月三日 以上 外屋 住吉内記廣尙印

不動尊二童子 一鋪

右僧智海眞筆無疑者也  
文政三庚辰七月六日 住吉内記廣尙印

松ニ鷹之繪 一鋪

右土佐光輔眞筆無疑者也

文政三庚辰 七月六日 住吉内記廣尙印

崇徳院  
時代不同歌合之切 一鋪

右者祖父廣守鑒定之通リ二條爲家卿眞筆無相違者也

文政三庚辰八月六日 喜谷 住吉内記廣尙印

人麿 一鋪

右芝法眼琳賢眞筆無疑者也  
文化三庚辰十月六日 外源 住吉内記廣尙印

藤原信實朝臣筆卷物切人物 廣尙印

庚辰十月六日

越前守光正筆來迎三尊 廣尙印

庚辰十月六日 竹本

聖德太子傳記 二幅

右中務少輔隆親眞筆  
文政庚寅十一月六日 外源 住吉内記廣尙印

菅神尊影 一鋪

右通覺上人眞筆無疑者也

四九

文政三<sup>庚</sup> 寅十一月六日 廣向  
松野半藏

文政三<sup>庚</sup> 辰十一月廿一日 廣向  
大善

五〇  
庚辰十二月六日 中壹尺壹寸壹分  
外源 堅貳尺三寸

源氏小色紙 六拾枚

右土佐左近衛將監光成眞筆無疑者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十一月六日 竹本  
住吉内記廣向印

地藏尊之繪 一鋪  
右巨勢金岡眞筆  
文政三<sup>庚</sup> 辰十一月廿一日 外屋源兵衛  
住吉内記廣向印

芝法眼尊海筆十三佛 廣向印

木筆不動尊 一鋪

右釋賢正眞筆  
文政三<sup>庚</sup> 辰十一月六日 外源  
住吉内記廣向印

高野四社明神 一鋪

右豐後法橋眞筆無疑者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十二月六日 大善  
住吉内記廣向印

柿本人麿 一鋪

右慈照院殿御眞筆無疑者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十二月 住吉内記廣向印

土佐光茂筆觀世音 廣向印

うら 抱一  
庚辰十一月六日

十六羅漢之繪 一鋪

右由來之通勝定院殿義持公御筆跡尤可然者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十一月廿一日 外源  
住吉内記廣向印

芝法眼尊海筆管神 廣向印

大岡土佐殿 右同斷

法眼源尊筆十三佛 廣向印

庚辰十二月六日 竹本

渡唐天神 一鋪

法橋良圓筆來迎阿彌陀尊 廣向

大善 絹地 巾壹尺二寸九分  
堅三尺一寸九分 右同斷

普賢菩薩 一鋪

右宅磨左近將監爲行眞筆無疑者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十二月六日 大善  
廣向印

右土佐光輔眞筆無疑者也  
文政三<sup>庚</sup> 辰十二月廿一日 右大和屋  
住吉内記廣向印

毘沙門天 一鋪

宅磨淨賀筆

巨勢懷慶筆來迎阿彌陀尊 廣向印